

忘れていた方も多いたと思いますが、指揮者アンケートについてのまとめとそれに対するコメントです。  
色々と参考になる意見も多く、これからの基礎や普段の合奏に役立てていきたいと思っています。

## ②今の基礎についてのよかった点、改善点など

### 良かった点

- ・チューニングを行う
- ・ロングトーン
- ・強弱スケール

### 改善点

- ・ブレス、発音などの意識が低い
- ・ロングトーンのし過ぎ
- ・パーカッションの基礎への参加

ロングトーンについてはやはり賛否両論で、すべての基礎であるロングトーンをやることは良いとの意見や、個人単位でやることもできるためそんなことを全体でやるのは時間の無駄との意見もありました。

ですが、普段の練習時間が限られているため音出し以外の基礎練習が基礎合奏のみになってしまう人も沢山いるかと思います。そこでより上の基礎をやろうとしてもなかなか揃わないのが現状です。

ロングトーン中でも全体で意識できることはたくさんあるはずですが、それをやるやらないは個人個人の意思の問題ですが、少なくとも全体でのロングトーンは無駄ではないと僕は考えています。

全体でやっているという意識を高めるために前での注意は全体を意識させるようなものを中心としています。(あまり音程や個人個人への指摘を行わないといった意味で)

ただ、マンネリ化しないための工夫はしていくつもりです。

例えば、同じ音を繰り返し数打てば当たるだろうというような一発の意識の低下をさせないため、ひたすら繰り返しの練習などは極力避けたり、違う調でのロングトーン(これはあまりやれてなくてすみません…)を行ったり、などただの作業にならないためのものは積極的に取り入れていきたいです。

なにせよ目的、目標を掲げた基礎合奏をやっていききたいです。

パーカッションの基礎への参加はそろそろ考えていききたいです。

指揮や目で見るとメトロノームでの基礎ができるようになれば、リズム楽器を交えた練習をしていききたいと思っています。

後は、ロングトーン以外にハーモニー、カデンツ、スケール練習(音形をかえつつ)、アタックリズム練習などの練習を入れて欲しいとあり、特にハーモニーはロングトーンを行なった後、仕上げとしてやるにはもってこいの練習かと思うのでやっていききたいです。

ほかの練習も定演前にチョロっとやっただけでそんなのでは意味がないとの意見があり、その通りですので普段から時間に余裕があるときにやっていききたいです。

個人個人で取り出して欲しいというのもありました(全体で練習をやっている(ry という意見との板挟み w) また高度なところまで音楽が作れるようになってきたら考えていききたいですね…

出してくれた人には申し訳ないですが、とりあえず団員内においての意識の差の近似値を取るとまだ早い気がします…

ただ、今後の団の活動方針について決める機会があればそれに従っていききたいです。

(がっつり吹奏楽をやっていくのか、自分たちもお客さんも楽しんでもらう演奏を目指すのか、など) 僕だけではさすがに決めかねる気がする(この辺の温度差については難しい問題ですね)

長くなってすみません。

以下気になった内容を抜粋してコメント共に書いていきます。

・ハモディの音を上げて欲しい。後ろまで聞こえない。

すみません。一番前の列への影響も考えつつ調整します。

・木・金の音が混ざらない！

これからの基礎で注目してみます。

基礎中だけ前列後列を入れ替える等やってみると面白いかもしれませんね。

・小節番号ふりません？

そろそろローテも決まってくる頃だと思うので指示をだします。

・指揮者以外からも指摘がでる習慣があるといいと思う。

直接僕に言ってくだされば間接的ではありますが伝えていきます。

合奏中も言いたいことがあれば言ってください(むしろ歓迎です)

ただ…なかなか難しいですよね^^；

楽曲ごとへの同じようなアンケートは取りたいと思っています。

・入りたくないから、しゃべっていて音出しが足りないから基礎に出ない…とかはやめて欲しい。

せっかく基礎に出てくれている人が損をする、という結果になってしまいますよね。

個人単位で見ても貴重な基礎の時間になるはずです。積極的に出てほしいです。

その他指揮者への直接の意見(話長い、あきらめムードはやめてほしい等)はしっかり受け止めていきます。

書いてみると長く、そして時間がかかってしまいました。すみません。

本当にご協力ありがとうございました m(\_ \_)m